

発生動向の概況

前回に引き続き、県内の感染症の発生動向に大きな変動はありません。現在、年間を通じ最も感染症による患者報告数の少ない時期を迎えました。

夏の感染症の今シーズンの流行は、ほぼ終息したようです。ヘルパンギーナ（夏かぜの一種）の定点当たり報告数は、7週連続して減少し、第34週は0.9人となりました。また手足口病も、9週連続して減少し、第34週は0.4人となり、両疾患とも県内全域で散発程度の発生となりました。咽頭結膜熱（プール熱）は、東中予で散発していますが、例年に比べ低い発生レベルのまま横ばいで推移しています。

感染性胃腸炎は、7月以降、定点当たり3~4人週程度で推移しており、報告数としては年間で最も少ない時期となっています。病原体は、下痢原性大腸菌やサルモネラなどの細菌性の割合が増加しています。また今回、腸管出血性大腸菌感染症の届出が6例ありました。細菌が繁殖しやすい気象条件が続いていますので、調理や食事の前、トイレやオムツ交換の後にはよく手を洗い、糞便からの経口感染を防ぐとともに、食材を十分に加熱するなど、一般的な食中毒予防を励行してください。特に、小児や高齢者など抵抗力の弱い方は、重症化することがありますので、食肉やレバーは十分に加熱（中心温度75℃で1分以上）し、肉類の生食は避けましょう。

その他の疾患では、第33週に日本紅斑熱の届出がありました。県内では、例年マダニ類の活動時期にあたる4月から10月にかけて増加しており、今年は第34週現在、7例の届出がありました。野山や畑、草むらなどマダニ類の生息場所に出かける際は、なるべく肌を露出せず、衣服、靴、肌が出る部分に防虫スプレーなどを活用し、マダニ類に刺されないよう注意してください。抗生物質の投薬により予後は比較的良好ですが、治療が遅れると重症化し経過も長くなりますので、早期に適切な治療を受けることが重要です。野外で活動した2日から8日後に発熱や発しんなどの症状が出た場合は、早めに医療機関を受診し、感染の可能性があることをお伝えください。

今回、後天性免疫不全症候群（エイズ）の届出が1例ありました。エイズの届出数は全国的に急増しており、全国の新規エイズ患者は、四半期報告では129例と過去最多の例数となっております。県内各保健所においては、エイズの無料・匿名検査を実施しております。不安のある方、エイズについて知りたいことがある方はご利用ください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症（結核は除く）

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 6例（全てO157）

四類感染症：日本紅斑熱 1例

*第32週分として、日本紅斑熱2例の届出がありました。

五類感染症：後天性免疫不全症候群 1例（AIDS）

40歳代男性、感染経路：不明、感染地域：海外

定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載）

	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	→ 0.2	東中予で散発程度の発生。例年に比べ低いレベルのまま横ばいで推移。
感染性胃腸炎	→ 3.7	大きな変動はなく、年間で最も報告数の少ない時期。細菌性の割合が増加。
水痘	→ 1.2	増減を繰り返しながら、県内全域で散発。例年に比べやや多い。
手足口病	→ 0.4	県内全域で散発。今シーズンの流行はほぼ終息。
ヘルパンギーナ	→ 0.9	県内全域で減少し、散発程度の発生。
流行性耳下腺炎	→ 0.6	増減を繰り返しながら、県内各地で散発。四国中央地区、今治地区でやや多い。

解析評価委員のコメントから

咽頭結膜熱：多くはありませんが、引き続きみられます。（中予）

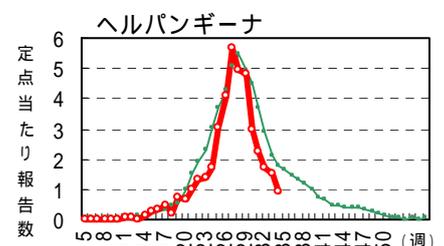
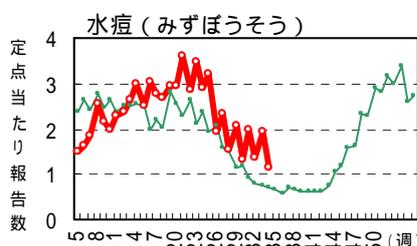
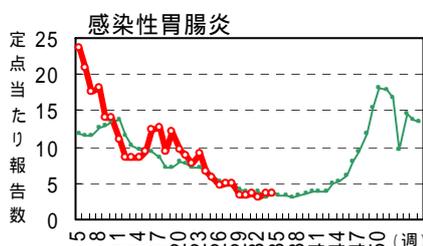
感染性胃腸炎：まだ見られていますが、多くありません。細菌性も見られます。（東予）

少しですが引き続き見られます。（中予）

散発です。（南予）

感染症全般：夏かぜが見られる程度で、明らかに流行している疾患はないようです。（南予）

過去30週の動向（→：過去30週の動向、→：過去10年の平均）



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成 22 年 9 月 1 日現在

ブタの日本脳炎ウイルス抗体保有調査では、8 月中旬までに採取した検体からは、日本脳炎ウイルスの抗体は検出されていません。第 33 週に四国中央地区で採取されたインフルエンザ患者（6 歳）からインフルエンザウイルス A 香港型が検出されました。インフルエンザウイルスが検出されたのは今年度に入って初めてです。その他の呼吸器疾患では、7 月中旬から下旬に西条地区で採取された手足口病患者 2 名からエンテロウイルス 71 型、7 月下旬に今治地区で採取された流行性耳下腺炎患者 1 名からムンプスウイルスが分離されています。また、8 月上旬から中旬の間に採取された気管支炎及び不明熱患者計 2 名からエンテロ様ウイルスが分離され現在同定中です。感染性胃腸炎では、7 月以降、下痢原性大腸菌、サルモネラなどの細菌性の病原体が高率に検出されています。また、ウイルスでは、同時期に少数ではありますがアデノウイルスが検出されています。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況
 HI抗体：ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。
 2ME感受性抗体：最近感染したかがわかります。

採血月日	検査頭数	HI抗体 陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体	
			検査件数 ²⁾	陽性数
7月 5日	10	0	-	-
7月 13日	10	0	-	-
7月 26日	10	0	-	-
8月 2日	10	0	-	-
8月 17日	10	0	-	-

1) HI抗体価は1:10以上を陽性とししました。

2) 2ME感受性抗体は、HI抗体価が1:40以上であった検体について検査しました。

過去5週 検出病原体

(7月26日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
30	7/26~8/1	西条	手足口病	エンテロ 71	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	2
サボ	糞便			1		
31	8/2~8/8	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	4
				サルモネラ O9	糞便	1
				アデノ	糞便	1
32	8/9~8/15	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	1
33	8/16~8/22	四国中央	インフルエンザ	インフルA香港	鼻腔吸引液	1
34	8/23~8/29	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞便	5
				サルモネラ O7、O9	糞便	1
				サルモネラ O9	糞便	1
				サボ	糞便	1

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月							合計
	2010							
	3	4	5	6	7	8		
ウイルス	コクサッキー A4			1	2	1		4
	コクサッキー B4		1	1		1		3
	エンテロ 71	7	5	6	3	3		24
	インフルA香港						1	1
	RS	2	2					4
	ムンプス		5	1		5		11
	ロタ	3	23	11	1			38
	アストロ				1			1
	ノロ	13	4	5	1			23
	サボ	3	7	2	6	3	1	22
	アデノ	4	3		1	3	1	12
	アデノ 2		1		1			2
	アデノ 5	1						1
アデノ 6		1					1	
ウイルス計	33	52	27	16	16	3	147	
細菌	下痢原性大腸菌		1	5	5	10	10	31
	サルモネラ O7						1	1
	サルモネラ O9						3	3
	カンピロバクター			2	1	2		5
細菌計		1	7	6	12	14	40	

臨床診断別検出結果

(2010年6月以降採取検体)

検出病原体	インフル エンザ	感染性 胃腸 炎	手足 口 病	流行性 耳下 腺炎	無菌性 髄膜 炎	下気 道 炎	不明 熱	合計
コクサッキー A4						1	2	3
コクサッキー B4							1	1
エンテロ 71			5			1		6
インフルA香港	1							1
ムンプス				4	1			5
ロタ		1						1
アストロ		1						1
ノロ		1						1
サボ		10						10
アデノ		5						5
アデノ 2							1	1
ウイルス計	1	18	5	4	1	2	4	35
下痢原性大腸菌		25						25
サルモネラ O7		1						1
サルモネラ O9		3						3
カンピロバクター		3						3
細菌計		32						32

愛媛県 定点把握五類感染症 2010年 第 34 週 (2010.8.23 ~ 8.29)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
患者報告数																				
保健所別	四国中央					15	4	2		2		2	4	-	-			1		四国中央
	西条				2	28	11	2		7		3	1							西条
	今治	1	4	3	15	3	1		7		3	8	4							今治
	松山市		3	4	3	50	15	2	3	12		15	4		3	-	-	-	-	松山市
	松山			1	8	16	3	2		8		3	3							松山
八幡浜				2	4	2	3		3		5	4					1		八幡浜	
	宇和島				8	5	2		2		2								宇和島	
週推移	愛媛県		4	9	18	136	43	14	3	41		33	24		7			2		愛媛県
	1週前	2	3	9	20	134	71	19	6	42		55	11		4			1		1週前
	2週前		5	12	20	114	51	30	9	35		64	20	1	12			4		2週前
	3週前		3	6	14	129	73	58	1	41		82	26		13			4		3週前
年齢別	0-5ヶ月					3	2			1		1								0
	6-11ヶ月	1				8	2	2		19		1						2		1-4
	1	2	1			28	15	3		18		4	4						5-9	
	2		4	1		21	10	4		2		10	4		1				10-14	
	3	1	2	2		14	6	2	1			11	3						15-19	
	4			3		10	5	3		1		5	4						20-24	
	5			1	5	11	2			1		1	1						25-29	
	6				1	4				1			3						30-34	
	7				2	7							2						35-39	
	8				1	5							1						40-44	
	9			1	2	7							1						45-49	
	10-14					10	1						1						50-54	
	15-19					4									1				55-59	
	20-29 ⁴⁾				1	4									1				60-64	
	30-39														4					65-69
	40-49																			70-
	50-59																			
60-69																				
70-79 ⁵⁾																				
80-																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央					5.0	1.3	.7		.7		.7	1.3	-	-			1.0		四国中央
	西条				.3	4.7	1.8	.3		1.2		.5	.2							西条
	今治	.2	.8	.6	3.0	.6	.2		1.4		.6	1.6		4.0						今治
	松山市		.3	.4	.3	4.5	1.4	.2	.3	1.1		1.4	.4		1.0	-	-	-	-	松山市
	松山			.3	2.0	4.0	.8	.5		2.0		.8	.8							松山
八幡浜				.5	1.0	.5	.8		.8		1.3	1.0					1.0		八幡浜	
	宇和島				2.0	1.3	.5		.5		.5								宇和島	
愛媛県		.1	.2	.5	3.7	1.2	.4	.1	1.1		.9	.6		.9			.3		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月1日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2010年 第 33 週 (2010.8.16 ~ 8.22)

		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎
患者報告数	四国中央	2			1	19	17	3		3			4	-	-			1		四国中央
	西条				3	22	13	4	1	7			4	1						西条
	今治		2	1	4	7	3	2	3	6			4	4	2					今治
	松山市		1	8	5	65	23	5	2	11			29	1		-	-	-	-	松山市
	松山				6	10	3	1		10			5							松山
保健所別	八幡浜				1	7	3	2		5			8	1	2					八幡浜
	宇和島					4	9	2				5								宇和島
	愛媛県	2	3	9	20	134	71	19	6	42		55	11		4			1		愛媛県
	1週前		5	12	20	114	51	30	9	35		64	20	1	12			4		1週前
	2週前		3	6	14	129	73	58	1	41		82	26		13			4		2週前
3週前	1		10	11	119	49	75	2	45		111	22		11			4		3週前	
年齢別	0-5ヶ月		1			2	2	1		2										0
	6-11ヶ月		1	1		14	6	1		25		10						1		1-4
	1		1			30	17	2	1	13		15	1							5-9
	2			1		15	10	4		1		15	1							10-14
	3			3		18	7	4	3	1		4	1							15-19
	4			3		12	12		1			6	2							20-24
	5				8	5	13		1			2	3							25-29
	6	1			1	5	1					2								30-34
	7				1	8								1						35-39
	8				1	5				1				1						40-44
	9				2	9	1													45-49
	10-14				3	8	2	3						1	1					50-54
	15-19	1																		55-59
	20-29 ⁴⁾				1	3						1								60-64
	30-39														1					65-69
40-49														2					70-	
50-59																				
60-69																				
70-79 ⁵⁾																				
80-																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	.4			.3	6.3	5.7	1.0		1.0		1.3	-	-			1.0		四国中央	
	西条				.5	3.7	2.2	.7	.2	1.2		.7	.2						西条	
	今治		.4	.2	.8	1.4	.6	.4	.6	1.2		.8	.8	2.0					今治	
	松山市		.1	.7	.5	5.9	2.1	.5	.2	1.0		2.6	.1			-	-	-	-	松山市
	松山				1.5	2.5	.8	.3		2.5		1.3								松山
保健所別	八幡浜				.3	1.8	.8	.5		1.3		2.0	.3	2.0						八幡浜
	宇和島					1.0	2.3	.5				1.3								宇和島
愛媛県	.0	.1	.2	.5	3.6	1.9	.5	.2	1.1		1.5	.3		.5			.2		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月25日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第32、33週 (2010.8.9～8.22)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
32週	愛媛県	.1	.3	.5	3.1	1.4	.8	.2	.9		1.7	.5	.1	1.5			.7		
	近畿県	香川県	.1	.4	.1	.4	3.0	.6	2.0	.0	.6		2.3	2.4		.3			
		徳島県	.0	.0	.2	.3	3.9	1.8	3.7		.7	.0	1.1	.8		.2		.2	
		高知県			.5	.5	1.8	1.2	3.1	.5	.5	.2	1.0	.2		2.3		.1	
	全 国	.0	.1	.3	.5	2.4	.7	1.6	.3	.6	.0	1.9	1.1	.0	.6	.0	.1	.3	.0
	北海道	.0	.1	.2	.6	.9	.6	2.0	.1	.3	.0	3.4	1.8		.5			.2	
	東北	.0	.1	.2	.4	1.7	.7	2.0	.2	.5	.0	3.7	.9		.8		.0	.6	.0
	関東	.0	.0	.2	.4	2.0	.6	1.5	.3	.5	.0	1.7	1.0	.0	.5	.1	.1	.4	.0
	甲信越北陸	.0	.0	.4	.7	2.5	.8	3.5	.2	.5	.0	4.0	1.4	.1	.3		.1	.3	.1
	東海	.0	.0	.2	.3	2.5	.6	1.2	.2	.5	.0	1.6	.7		.3			.3	.0
近畿	.0	.1	.2	.5	2.4	.7	1.1	.2	.5	.0	1.1	1.3	.0	.5	.0	.1	.2		
中国四国	.0	.1	.5	.6	3.2	1.0	1.3	.1	.6	.0	1.3	1.2	.0	1.0	.0	.0	.2		
九州沖縄	.1	.1	.4	.5	3.4	.7	1.6	.5	.8	.0	.9	1.2	.1	1.2		.1	.3	.0	

(8.18集計)

33週	愛媛県	.0	.1	.2	.5	3.6	1.9	.5	.2	1.1		1.5	.3		.5			.2		
	近畿県	香川県	.1	.2	.2	.6	3.5	.6	1.6		.6		1.0	2.0		.3			.2	
		徳島県	.1	.2	.4	.5	3.2	1.1	3.4		.8		.8	1.2					.2	
		高知県			.7	.4	2.6	1.2	1.5	.4	.5		.8	.1		1.0			.1	.3
	全 国	.0	.1	.3	.5	2.7	.6	1.3	.3	.7	.0	1.3	1.2	.0	.8	.0	.1	.3	.0	
	北海道	.0	.1	.2	.7	1.0	.5	2.0	.1	.5	.0	2.4	1.6		.7	.0		.1		
	東北	.0	.0	.3	.3	1.8	.4	1.8	.2	.6	.0	2.9	.9	.0	.9		.0	.5	.0	
	関東	.0	.0	.1	.4	2.0	.5	1.3	.4	.6	.1	1.2	1.1	.0	.7	.0	.1	.5	.1	
	甲信越北陸	.0	.0	.4	.7	2.9	.7	2.7	.3	.7	.0	2.6	1.3		.6	.1	.1	.3	.1	
	東海	.0	.1	.2	.4	2.9	.7	1.1	.3	.7	.0	1.0	.8		.4		.1	.3		
近畿	.0	.1	.3	.5	2.9	.6	.8	.2	.6	.1	.7	1.4		.6	.0	.1	.4	.0		
中国四国	.0	.1	.5	.6	3.7	.9	.9	.1	.7	.0	1.0	1.5	.0	.9	.0	.0	.2	.0		
九州沖縄	.1	.2	.4	.7	4.0	.9	1.4	.8	.9	.0	.7	1.3	.0	1.7		.1	.3	.1		

(8.25集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 第32、33週 (2010.8.9～8.22)

疾病名	二類		三類感染症					四類感染症													五類感染症																								
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(34) 野兔病	(35) ライム病	(38) 類鼻疽	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん			
全 国	659		1	8	358	3		3	5		1		1	16	8				7					21		25	3	3		3	4	30	1			6	3		1	3	14				
第32・33週報告数	四 国	愛媛県	13		2											1											1																		
		香川県	4		2																																								
		徳島県	1		2																							1																	
		高知県	10	1	6																																								
	ブ ロ ッ ク 別	北海道	18		10			2																		1																			
		東北	45		33									1	1											1																1	1		
		関東	240		122	3		1	2						5	2					4					6	12	2	2																
		甲信越北陸	43		50				1																	3	2	2	1	1															
		東海	93		37							1			4											5	3	3																	
		近畿	77		41				1						3						3					5	2																		
中国四国	58	1	23										1	2										1	3																				
九州沖縄	85		42					1					2	4											1																				
週 推 移	全 国	33週	304	1	7	194	1		1	3				1	9	3				3					11	10	1	2		1	1	13	1			3	3			1	1	8			
		32週	355		1	164	2		2	2		1			7	5				4					10	15	2	1		2	3	17				3					2	6			
		31週	315		6	167	1		2	2					10	1				2				1	15	17	1	2		2	1	11				8	3			2	1	11			
		30週	285		1	129				4					1	4	2				1				26	11	1	1	1	5		17				9				3	1	6			
2010年累積数	四 国	全 国	15925	5	113	2347	21	14	45	290	6	7	1	111	112	47		2		45		8	2	446	5	519	125	153	10	105	83	932	48	5		381	61		68	66	353				
		愛媛県	200		4			1	4						3	7									2	2	3		1		4					1	1					2			
		香川県	119		6										1										5	2			1	1	3	1				4									
		徳島県	121		15				4						1	1	3								1	3			2	7	1					1	1								
	ブ ロ ッ ク 別	北海道	515		107			19	2	6				1									3	9	10			3	6			9					6	1			4		3		
		東北	853	1	5	202			1	5				53	4					1					37	24	5	5		12	2	20	3				19	6		2	2	17			
		関東	5987	3	69	525	14	5	9	87		2		12	47	5		1		25		1	2	120	2	232	43	57	5	22	37	419	19	1		174	16		28	27	187				
		甲信越北陸	768		2	138			3	26				15	3					1		1		72	2	21	3	21		4	7	25	2			11	5		2	2	16				
		東海	2186		9	492		1	3	19		2	1	1	14	3		1					1	43	57	13	10	1	17	14	124	2	1		60	5		6	6	31					
		近畿	12251		13	329	5	6	3	44		2		7	23	3				11		2		80	1	96	29	32		17	10	212	7	2		53	6		8	16	56				
中国四国	1374	1	5	173	1	1	3	45		1		9	11	18					2				39	32	14	6		14	8	55	11			19	8		6	6	14						
九州沖縄	1991		8	381	1	1	4	62					14	9	18				5				46	47	18	22	1	13	5	68	4	1		39	14		12	7	29						

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・新型インフルエンザは掲載していません。

(2010.8.25集計)